



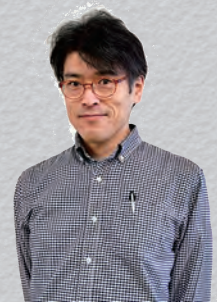
芦屋観光についての甲南女子大生からの提案

甲南女子大学の日本語日本文化学科で、今、最も人気なのはホスピタリティコース。観光やホテル業界での活躍を目指す学生が多く集まっています。そんな本学科と芦屋市が連携し、芦屋の観光について9つのグループによる発表が行われました。

芦屋の観光を考えるとと言っても、芦屋市在住の学生はゼロ。しかし地元にとっての魅力は、必ずしも訪問者の魅力にはなりません。逆に、地元にとってはなんでもないことが、訪問者に魅力的なものに感じられることも少なくあり

ません。とすれば、芦屋市に隣接していながら芦屋市民のいない甲南女子の学生たちは、芦屋の観光への提言者としてうってつけかもしれません。

すぐにでも実現できそうなものもあれば、なかなか実現が難しそうなものもありますが、もし学生たちの提案を実現できたら、観光地としての芦屋の注目度が上がる可能性は高いのではないのでしょうか。意見交換を重ねながら、提案の実現に向けて動き出すことができれば、と思います。



甲南女子大学 教授 信時 哲郎氏

優秀賞5グループの概要

芦屋市のまちづくり 観光まちあるき研究 ～甲南女子大生から見た芦屋市の魅力と提案～

■シェアサイクル提案

芦屋の各所に電動シェアサイクルを置くことを提案。芦屋は坂が多く、移動が大変だと感じた学生たちの感想から生まれたもので、もし実現すれば、坂の上からの眺めを気軽に味わってもらえるかもしれない。

■あしや温泉の若い人向け利用提案

芦屋文化ゾーンをめぐるスタンプラリーにワークショップを組み込むことを提案。また、商店街をカラフルに装飾したらどうか、足湯で飲食を楽しめるようにしたり、四季を感じることができるようしたらどうか。

■食パン巡り！IN芦屋

食パンに着目。芦屋市内のパン屋を巡り、芦屋を「食パンの街」として

広報することを提案。芦屋市内の各駅には、食パン巡りのパンフレットを設置したらいいのではないかと(自分たちで作ったマップ入りの試作品も紹介。)

■芦屋川河川敷の市民向け利用提案

芦屋川を4つのエリアに分けることを提案。上流からガーデンスペース、オープンカフェスペース、遊びスペース、イベントスペースとして整備し、目的や季節、年代などに分けて楽しんでもらってはどうか。

■芦屋と鉄道と観光

芦屋市に日本最古レベルの鉄道トンネルがあることを指摘。ほぼ同時期にできた住吉川や石屋川の下を通るトンネルには記念碑があるのに、芦屋川には何もなくて、これができれば鉄道ファンの聖地になる可能性を秘めているのではないかと。